

新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について (北海道教育大学)

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

本学では「新型コロナウイルスへの対応方針」及び「新型コロナウイルス行動指針」を策定し、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に対応した教育活動を実施している。

授業の実施方法として、オンライン型、オンデマンド型、対面型を組合せて実施し、受講者を2グループに分けて対面授業で受講するグループとオンデマンドで受講するグループを交互に入れ替えて実施するとともに、大学教育情報システムの課題管理機能を利用して学修状況の把握を行った。

「教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令等の施行について」(令和4年3月25日付け3文科教第1398号文部科学省総合教育政策局長通知)に基き、教育実習の最低授業時間数を確保できない場合の対応措置をまとめた「教育実習ガイドライン」を教育委員会で毎年度策定し、最低時間数を確保できない場合に本学が行う授業による代替措置を認める等の体制を整備した。

遠隔授業の実施に当たって、通信環境のない学生に対してWiFiルーター(71台)やノートPC(54台)整備し、貸与できる環境を整えた。また、大学教育情報システムにおいて課題管理のアップロードファイルサイズの拡張を行うことで利便性を高めた。

コロナ禍の直後から定期的に、教員を対象としたICTに関するFDを開催し、教員のICTリテラシーの向上に務めている。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

学生の経済的支援を目的とした「北海道教育大学学生経済支援”夢をあきらめない”パッケージ」を策定し、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、世帯収入、アルバイト収入の激減により、大学での修学の継続に支障をきたしている学生に対して、大学基金による緊急学生支援金の給付等の経済的支援を実施した。また、授業や生活等の大学生活における相談窓口についても電話やメールで対応できる体制を整備した。

附属図書館では全国の大学等と国立情報学研究所(NII)が連携して構築する学術認証フェデレーション「学認(Gakunin)」を利用したリモートアクセスサービスを開始し、学外からインターネットを介して電子書籍や電子ジャーナル等の閲覧を可能とした。